

平成26年度関東東海北陸農業試験研究推進会議
関東東海・病害虫部会現地研究会 開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議 関東東海・病害虫部会長
中央農業総合研究センター 病害虫研究領域長
本多 健一郎

1. 趣旨

関東東海地域の生産現場では、ウイルス病を媒介する微小害虫の防除が課題である。これら微小害虫は、農薬抵抗性を獲得しやすく、すでに複数の農薬に対して抵抗性を獲得した個体群も確認されているため、農薬に依存した防除は困難になりつつある。神奈川県が中心となり近年開発された「赤色防虫ネット」は、微小害虫が通過できる目合いでありながら、ネットを構成する糸を「赤色」に染色することによって、微小害虫の侵入抑制効果を発揮する。そこで、本研究会ではこの「赤色防虫ネット」資材を組み込んだ総合防除における微小害虫とウイルス病の防除効果を検討し、本資材利用技術の今後の展開を展望する。併せて、生産現場における「赤色防虫ネット」を用いた総合防除の取り組みを視察する。

2. 開催日時 平成26年10月1日(水) 13:30～2日(木) 12:00

3. 開催場所

研究会 (1日目) 平塚プレジール 6F 若松の間
(〒254-0811 神奈川県平塚市八重咲町 3-8
JR 東海道線平塚駅下車から徒歩1分、JR 小田原駅から約25分、
横浜駅から約40分)
現地視察 (2日目) 1) 赤色防虫ネット被覆によるコマツナ栽培ほ場 (茅ヶ崎市萩園)
2) 赤色防虫ネットと天敵等を導入した抑制キュウリ栽培
(平塚市岡崎)

4. 検討事項

「ウイルス媒介性微小害虫の総合防除」
1) 「赤色防虫ネットの開発経緯とネギアザミウマ・IYSVの防除」
神奈川県農業技術センター 大矢 武志
2) 「赤色ネットによる冬春キュウリのミナミキイロアザミウマ対策」
岐阜県農業技術センター 妙楽 崇
3) 「赤色防虫ネットによるウイルス媒介昆虫の侵入防止効果確認」
群馬県東部農業事務所館林地区農業指導センター 蓼沼 優
4) 「高濃度炭酸ガスによる害虫フリー化技術と赤色ネットの組み合わせ」
宇都宮大学農学部 村井 保
5) 総合討論

5. 参集範囲

関東東海地域各都県行政部局及び試験研究機関、農林水産省生産局、消費・安全局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、民間研究機関、大学、農業環境技術研究所、農業・食品産業総合技術総合研究機構 作物研究所、野菜茶業研究所、花き研究所、中央農業総合研究センター、その他部会長が認める者

6. 連絡先

会議関係：中央農業総合研究センター 病害虫研究領域
水久保 隆之 mizu@affrc.go.jp TEL 029-838-8839 FAX 029-838-8837
参加申込み：神奈川県農業技術センター生産環境部 病害虫研究課
折原 紀子 orihara.a538@pref.kanagawa.jp
TEL 0463-58-0333 FAX 0463-58-4254

7. その他 参加、会場案内等詳細については神奈川県農業技術センター生産環境部病害虫研究課から別途連絡する。また、中央農業総合研究センターホームページの「研究交流の広場」http://www.naro.affrc.go.jp/narc/kenkyu_koryu/suishin/052510.htmlからも入手できる。